

## 一木一石運動

大山は中国地方の最高峰です。日本百名山の1つとして、大山は毎年多くの登山者を引き付けています。1960年代から70年代の登山者の莫大な増加で踏み荒らされたことにより、大山の高山植物はその数十年でほぼ消えてしまいました。1980年代、その一帯は土壌の浸食によってより不毛の地となり、その問題はさらに拡大しました。1985年の4月、地元の自然保護団体と行政機関が、「大山の頂上を保護する会」をつくりました。かれらは、その生態系を回復するために山頂へ、1本の木と1個の石を登山者に頼んで運んでもらう、一木一石運動を始めました。石は斜面を安定させ、成長する苗木を保護するのを助けました。当時、この種のプロジェクトは日本では稀でした。これらの努力の結果として山頂の植生は回復しましたが、この重要な生息地を以前の状態に戻すには継続的な努力が必要です。